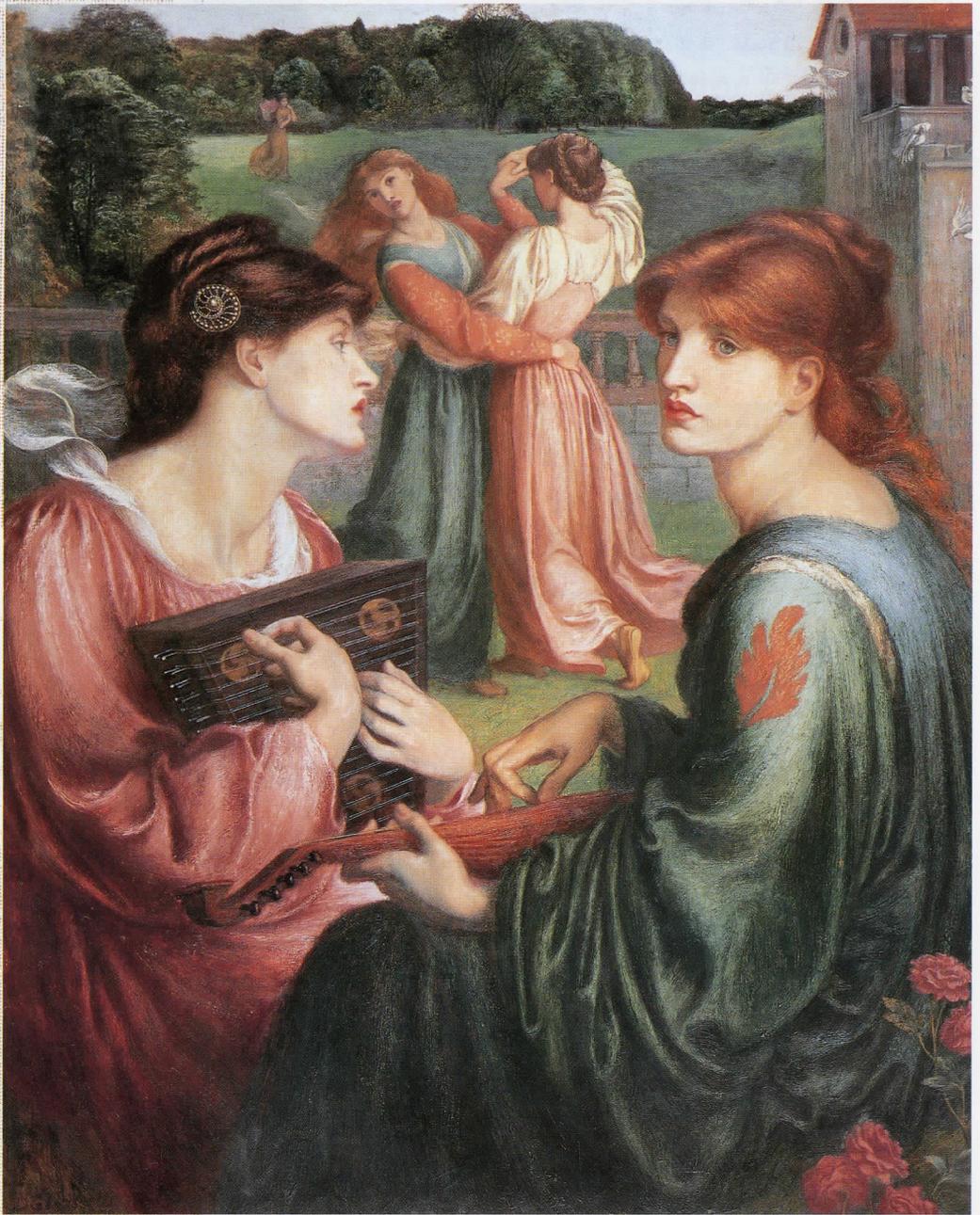


Masterpieces of the 18th and 19th Centuries' British Paintings
from The Manchester City Art Galleries



ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ「あずまやのある草地」1850-72年

マンチェスター市立美術館所蔵

珠玉の英国絵画展

1993 9.11(sat)~10.11(mon)

開館/午前9時~午後5時(展示室入室は午後4時30分まで) 初日は午前10時開展
毎週金曜日は午後7時まで開館(展示室入室は午後6時30分まで)
月曜日休館(ただし、10月11日は祝日振替のため開館)

入場料/一般900円/高大生600円/小中生300円(一般前売および団体20名様以上は2割引)

高松市美術館 高松市紺屋町10-4
TEL(0878)23-1711

主催/高松市美術館・四国新聞社・西日本放送

後援/ブリティッシュ・カウンシル

協力/日本航空

珠玉の英国絵画展

英国絵画の歴史の中でも特に黄金期といわれる18、19世紀の絵画を、マンチェスター市立美術館の所蔵品からご紹介します。この時期の英国絵画は、風景画や肖像画の隆盛、そしてラファエル前派の運動やヴィクトリア朝古典主義の復活など、産業や都市の経済成長とともに独自の展開をみせています。ターナー、コンスタブル、ロセッティなど約100点の出品作品はその主題から5つのセクションに分けられ、英国絵画の独自性をよりわかりやすくご覧いただける構成になっています。

1. 緑と喜びの国イングランド
2. 旅する芸術家
3. 生活のありさま
4. ラファエル前派の想像力
5. 古代への憧れ



ジョシュア・レイノルズ「ジェーン・ハミルトンと令嬢ジェーンの肖像」1755年



フレデリック・サンズ「ヴィヴィアン」1863年



ジョン・M.ストラドウィック「林檎は金色、歌は甘美なりしとき。夏は過ぎぬ」1906年



トマス・ゲインズボロ「羊飼いと羊のいる風景」1786年頃



J.W.ウォーターハウス「ヒュラスとニンフたち」1896年



J. M. W.ターナー「次は画家の番（ロープ）乗船する旅客たち（カレーの海峡）」1827年



ジェームズ・アーチャー「アーサー王の死」1860年

■ 記念講演会のお知らせ

「英国絵画の黄金時代ーラファエル前派からヴィクトリア朝絵画へー」

9月23日(木・祝日)午後2時から

講師/千足伸行氏(成城大学教授)

入場無料 定員/先着200名様

■ 催し物のお知らせ

● 第3期常設展 10月31日(日)まで開催中

現代美術の人物像/現代の工芸

● モンゴルの民俗音楽コンサート

10月2日(土)

● アンディ・ウォーホル映画回顧展 part II

10月8日(金)~11日(月・祝日)

● 高松市美術館開館5周年記念

大岡信 美術講演会

10月17日(日)

■ 次回展覧会のお知らせ

伊東深水展 11月5日(金)~11月28日(日)